

陶芸入門 - 焼きものの世界 - vol.2

それでは、実際に粘土から“器、へと制作を進めていくわけですが、その工程は基本的に次のような流れとなります。

①土練り



②成形



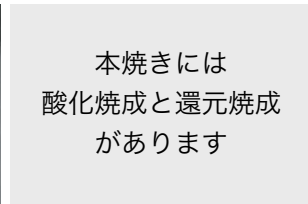
③削り



④乾燥



⑥施釉



成形の種類

粘土をモノの形にしていくことを成形と言い、「手びねり」と「ろくろ（轆轤）」の2つに大別されます。手びねりには「玉づくり」「紐づくり」「タタラづくり」などがあり、ろくろは手回しの「手ろくろ」モーターで動く「電動ろくろ」が主流です。ろくろには他に徳島県の大谷焼に見られる「寝ろくろ」などがあります。大谷焼で「寝ろくろ」が用いられたのには、徳島県の特産「阿波藍」が関係しています。ここでは割愛しますが、ぜひ調べてみてください。

制作について

島内のいくつかの窯場にご協力いただいて、昨年度は3年生のみ陶芸に取り組みましたが、今年度は学年ごとに成形方法や装飾の仕方などを段階的に設定して取り組む予定です。当初は文化祭で展示できればと思っていましたが…。しばらく予習のお願いが増えるかもしれませんね。